

防災訓練・避難訓練を実施

防災訓練の結果を
お知らせします

1 2 月 8 日(日)「手賀の杜総合防災訓練」にてシェイクアウト訓練(各家庭で実施)、班員世帯の安否確認訓練及び中央公園への避難訓練が行われました。

訓練は、「午前 8 時 55 分、千葉県北西部を震源とする震度 6 強の大きな揺れを観測した」との想定で開始されました。午前 9 時 5 分からの安否確認訓練では、各班長が班内の全世帯(対象は会員世帯のみ)を訪ね、「大丈夫・安全」目印のタオルを確認、この目印掲示がない世帯を一軒ずつ訪問して安否を確かめました。その結果は、手賀の杜スクエアに設置された手賀の杜自主防災本部に集められ、確認漏れ世帯がないよう、自主防災担当役員が集計作業を行いました。

手賀の杜地区丁目別集計結果は以下の通りです。

	班総数	①目印あり	②在宅確認	不在・応答なし	③確認数 (①+②)	総数-③確認数	確認率
1 丁目	141	50	51	40	101	40	71.6%
2 丁目	266	115	97	54	212	54	79.7%
3 丁目	193	92	53	48	145	48	75.1%
4 丁目	194	90	61	43	151	43	77.8%
5 丁目	161	45	73	43	118	43	73.3%
合計	955	392	335	228	727	228	76.1%

避難訓練には120名以上が参加

今回の指定避難場所は例年と異なり、中央公園となりました。中央公園には、120名以上の方が避難行動され、受付された方には参加賞をお渡し致しました。

また、柏市消防署のご協力により、「水消火器訓練」と「起震車体験」を行いました。どちらにも多くの方にご参加頂きました。



手賀の杜自主防災本部



安否確認の様子



起震車体験



水消火器訓練

今回の訓練では、例年に引き続き、各家庭で災害発生直後に自分の身の安全を確保する基本的な行動である「シェイクアウト」を実施致しました。

シェイクアウト（ShakeOut）訓練とは

2008年に米国カリフォルニア州で生まれた、地震の一斉防災訓練です。

シェイクアウトは、地震の際の安全確保行動 1－2－3「**まず低く、頭を守り、動かない**」を身につける機会です。

室内にいる時に地震が発生したら、その場で安全確保行動 1－2－3「**まず低く、頭を守り、動かない**」を実践しましょう。

1. まず体勢を低くして地面に近づきましょう。
2. 固定されたデスクやテーブルの下に入り、頭を守りましょう。頭を守るものがない場合は、腕や荷物を使って、頭を守りましょう。
3. そして揺れが止まるまで動かずじっとしていきましょう。（訓練時は 1 分間動かない）



DROP!



COVER!



HOLD ON!

出典「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議 <http://www.shakeout.jp/>

また、この機会を利用して、是非、各ご家庭において、災害時に備え非常時セットの準備を進めるなどして、直ぐ行動に移せるようにしましょう。

柏市では、地域の防災力向上を目的として、防災に関わる講義映像を公開しています。

自然災害は地震だけではありません。

この機会にぜひご視聴ください。

「[動画で学ぼう！ かしわのぼうさい](#)」



今後も地域住民の皆さんが防災意識を一層高め、より多くの方が防災訓練を体験できるよう、自治会/自主防災組織役員が中心となり防災活動を進めてまいります。今年の訓練に参加できなかった住民の皆さんは、自分の命は自分で守ることを踏まえ、是非、次回訓練へのご参加をお願い致します。

手賀の杜自治会住民の皆さんへのお願い ☆ご家族で防災チェックにご活用ください☆

解説編

問題(1) 大地震発生時にあなたの家(同居家族)では自宅待機が出来ない状況下で避難する場所を決めていますか？

- ① 何処に避難すべきがわからない
- ② 最寄りの学校校庭に避難することで決めている
- ③ 最寄りの学校体育館に避難する予定である

皆さんにご理解頂きたい解答は「②」

柏市の指定避難場の所は右マークのある最寄りの学校校庭です。

手賀の杜地区の最寄りの避難場所は「県立沼南高校」と「市立風早北部小学校」の校庭(グラウンド)になります。このうち、風早北部小学校には住民支援を行う手賀の杜自治会役員は駐在しません(駐在は沼南高校のみです)ので、食料などの十分な支援が受けられない可能性がありますことを



予めご承知ください。その場合、災害が収まり移動が可能となった際に、沼南高校校庭に移動して頂くことになります。なお、学校校庭に避難移動する前の一時(いっとき)避難用地として、手賀の杜中央公園に自治会(自主防災組織)が地区の災害対策本部(テント)を設置することとなっていますので、不安に感じた場合はこちらに参集願います(荒天でテント設置が難しい場合、すぐ横の手賀の杜スクエアに本部が設置される場合もあります)。なお、災害時は指定避難場所とは別に避難所が各学校の体育館など屋内に設けられます。これは、災害などにより住居を失うなど、自宅での生活が困難となり、引き続き避難を必要とする人や帰宅困難者が一定の期間避難生活をする所となっており、上記指定避難場所とは異なります。災害避難先が最寄りの学校体育館では「ない」ことに留意ください。

問題(2) 上水道が断水の際、飲料水の給水場所(応急給水所)は何処にあるかをご存知ですか？

- ① 知っている(何処?→_____)
- ② 知らない
- ③ 市役所(沼南支所)や消防署・消防団の施設である

皆さんにご理解頂きたい解答は「①」

手賀の杜の最寄りの給水所は、手賀の杜1丁目ひだまりの公園の地下に埋設されている水道管貯水槽と、五條谷地区に所在の岩井水源地の2か所です。給水所にはマイカーを使わず徒歩で向かいましょう。駐車場が十分に整備されていないので、駐車に困り給水を受けられない可能性も出てきます。水の運搬用に台車・手押し車・スーツケースとポリタンクを是非各世帯で用意しておきましょう。

沼南支所や消防署・消防団施設で給水活動は基本予定されていません。また給水車を使った給水活動も、定点位置が定まっていないため、確実に給水を受けられる上記2か所へ徒歩で向かいましょう。

問題(3) 災害時の水や食料品などの備蓄状況は？

- ① 同居家族の最低三日分・出来れば1～2週間分を用意
- ② 自衛隊や行政からの補給支援を待つまでの当座1日分を用意
- ③ 自宅に備蓄スペースがないので発災時に近くのコンビニやスーパーに駆け込んで購入・確保する

正解は「①」

行政や防災専門家から推奨されている災害時の備蓄品確保の目安です。柏市は地勢的に大きな災害に遭うような場所が限定されているため、広範囲で災害が起きた際、より被災した地域が優先され、柏市に自衛隊や行政からの物資支援はなかなか来ないものと覚悟しましょう。東日本大震災発生後、あっという間にスーパーやコンビニから食材が消えたことを思い出しましょう。慌てて買いに出かけても商品棚にあなたの欲しいものは残っていない可能性が高いです。

問題(4) 猛烈な台風や爆弾低気圧の接近で暴風雨・猛吹雪などの警報発令の際、自宅待機が心細い場合はどうしますか？

- ① 柏市防災安全課や社会福祉協議会事務所に連絡
- ② 柏市内の最寄りの近隣センターに連絡
- ③ 消防署(119番救急通報)にSOSの連絡

正解は「②」

市役所・社会福祉事務所・消防署には一般市民からの問い合わせが殺到し、あなたの電話に対応できない可能性が高くなります。一方、②は台風や暴風雨が接近する予報が出た際に「自主避難所」を開設する場合がありますので、台風接近時に早めに下記まで連絡し、避難所が開設される場合は早めに避難しましょう。☎沼南近隣センター☎04-7192-1111

問題(5) 自宅で大地震発生時にあなたが先ずとるべき行動は？

- ① 閉じ込められないよう扉や窓を開ける
- ② 火事にならないようガスの元栓を閉める
- ③ 怪我をしないよう机の下など安全な場所に隠れる

正解は「③」

震度5強以上の揺れが続く中で、①や②の適切な行動は出来ません。むしろ怪我をして逃げ遅れ、二次被害に巻き込まれてしまいます。是非大きな地震を感じたら屋内の安全な場所で自分や同居家族の身を守りましょう。①・②の行動はそのあとで。シェイクアウト訓練もその目的で実施しています。

問題(6) 以下の10の品物はどれも大地震の際に必要とされています。この中で最も重要な品物を1つ選んでください。

- ① 飲料水、② 乾パンなど長期保存可能な食材、③ 懐中電灯、④ 携帯ラジオ、⑤ ノコギリ、⑥ 医薬品、⑦ 10円硬貨、⑧ スリッパ、⑨ 警笛(ホイッスル)、⑩ 多機能ナイフ

正解は「⑨」

いずれも災害発生後に備えておくことで命を繋ぐ物品として扱われていますが、仮に地震で屋内に閉じ込められた際のSOS発信用として欠かせない警笛(ホイッスル)が最も重要な品物となります。身辺携行品に加える、寝室の手の届く場所に置いておくといった対処をお勧めします。

問題(7) あなたの町内では大地震発生直後に住民の安否確認を行う体制は確立していますか？

- ① 自治会役員・班長などの住民担当者で見回りや確認が行われることになっている
- ② ご近所同士で日頃のお付き合いがあり、いざという時お互いに声掛けし合っている
- ③ 知らない。そういった体制は出来ていないと思う。

正解は「①」

手賀の杜自治会では、平成26年秋より防災訓練を実施し、住民の皆さんには、安否確認訓練として、事前に想定発災時刻後に速やかにタオル(色や柄は問いません)類を門扉や郵便ポストなどに掲げ、在宅者が安全であることを外部に知らせる目印にしています。その後このタオル類の掲示を各班長が確認に回り、掲げていない家庭にはインターフォンを鳴らして在宅の有無を確認させて頂いています。

問題(8) 在宅避難が難しくなった場合でも感染症が心配で密になる避難所には避難したくない。その場合あなたのとるべき行動は？

- ① 親戚や知人宅に避難する
- ② マイカーで安全な処に避難し簡易テントも併用のうえ数日は自宅外での生活ができるようにする
- ③ 代替避難方法は思いつかない・外部避難はあきらめている

推奨される解答は「②」

感染症拡大禍での①の選択は知人や親戚からも嫌われる可能性があります。また止むを得ずの③の選択も、目前の「死」に直結する「あきらめ」は是非捨てて指定避難場所への移動をお願いします。それがどうしても嫌な場合は是非②のご準備をお願いします。

以上

本件内容への不明な点や質問がありましたら、任意の様式で自治会役員までお寄せください
☞スクエア又はプラザの郵便受けに投函願います。